reservation page

LRV導入を契機とした 地域活性化の推進

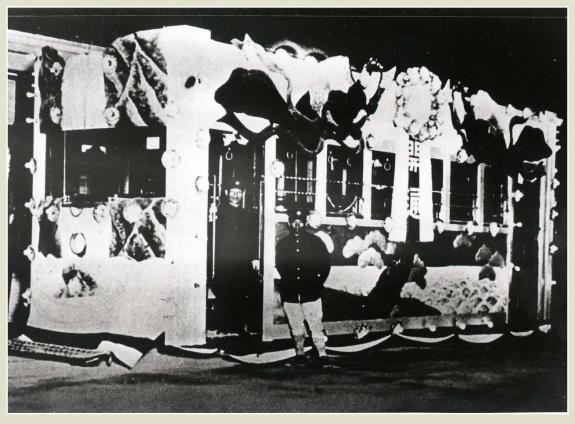


豊橋鉄道株式会社 鉄道部 運輸営業課長 戸田 昌裕



大正10年11月9日 大正13年3月17日 大正14年7月14日 武田賢治ほか6名により豊橋市内軌道敷設特許出願 豊橋電気軌道㈱ 会社創立

駅前〜神明〜札木十字路間(O.8Km) 及び神明〜柳生橋間(1.1Km)開通







昭和24年 9月 1日 昭和26年7月30日

豊橋乗合自動車㈱と合併・豊橋交通㈱へ名称変更 東八町~前畑間を複線化 昭和29年7月22日 豊橋鉄道㈱へ名称変更



昭和45年頃

昭和35年12月8日 柳生橋支線ワンマン運行開始

昭和44年5月15日 駅前~市民病院前間休止 昭和48年3月廃止(左写真区間)

昭和46年8月28日 東田本線ワンマン運行開始

昭和51年 3月 7日 昭和57年 7月31日 平成 2年11月22日 柳生橋支線 新川〜柳生橋間運輸事業廃止 井原〜運動公園前間(O.6Km)運輸営業開始(左写真) 「とよはし市電を愛する会」発足





井原~運動公園前開通式

とよはし市電を愛する会「4月10日市電の日イベント」

平成 2年 ~ 8年 センターポール化事業(左写真)

(駅前大通・国道1号線・国道259号線区間)

平成10年2月19日 駅前停留場150m移設(延伸) 豊橋駅への乗り入れ

平成17年3月31日 「駅前大通停留場」新設(右写真)



センターポール 国道1号「豊橋公園前付近」



駅前大通電停完成

平成17年8月2日

部分低床車800形(×1両)、780形(×7両)車両順次導入

平成19年3月20日

競輪場前停留場安全島完成(左写真)

(旧名鉄 岐阜市内線・美濃町線車両)

平成20年3月20日

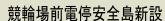
停留場のバリアフリー化工事竣工

札木・市役所前(右写真)・豊橋公園前・運動公園前

平成20年12月

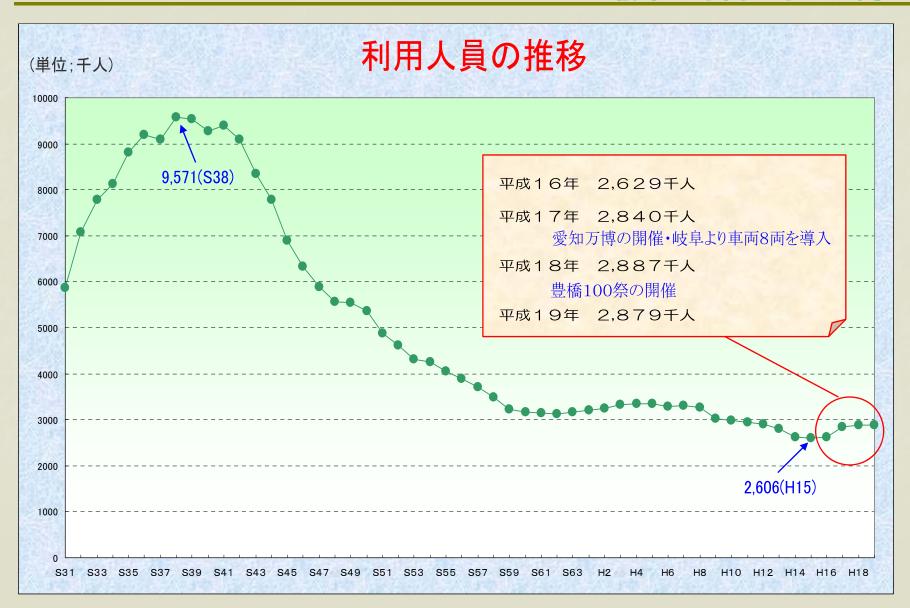
LRV T1000形 導入





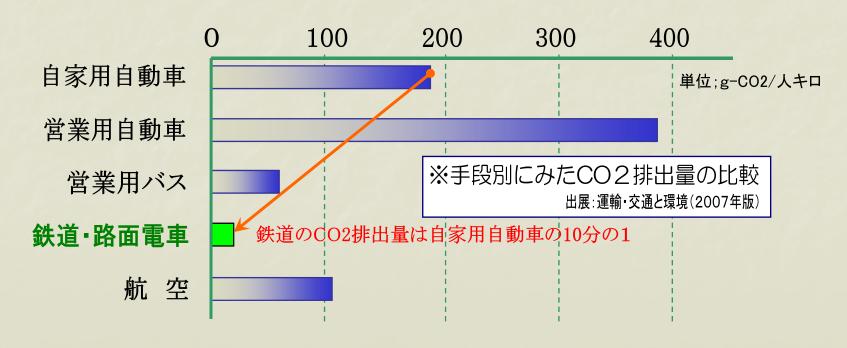


市役所前電停バリアフリー化



豊橋鉄道が推進するLRT計画

- I. 過度に自動車交通に依存しない都市体系の構築を目指す
 - 豊橋市都市交通ビジョン(平成16年3月策定) -
 - 誰もが多様な交通手段を利活用できるまち
 - ●自然環境に対する負荷軽減



Ⅱ. 路面電車の安全性・快適性を高め、バリアフリー化を促進

- 公共交通機関には、誰もが利用しやすい環境が求められる
 - *電停安全島の整備(バリアフリー化等)・低床電車の導入
 - *1日フリー乗車券・昼間割引回数券の販売、最終電車の延長
 - *「おかえりキップサービス」地域・事業者・行政が一体となって実施

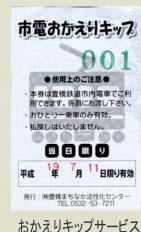


競輪場前電停整備の新旧比較





買い物回数乗車券



昼間割引回数券

Ⅲ. シンボル性を高め、まちの顔にふさわしい公共交通機関に

○"路面電車の走るまち"として特色ある都市景観と観光資源、

話題性を提供



(電車+おでん)

Ⅳ. 基幹的な公共交通として、まちの活性化につなげる

- まちづくりや都市機能において公共交通機関の継続性は必要
- ●厳しい経営環境の中、路線維持には地域との相互協力意識を 今以上に高め、路面電車をまちの移動装置へ

サイクル&ライド パーク&ライド





運動公園駐輪場(運動公園前) 赤岩口駐車場



国道1号線を走る路面電車





- ●形 式 T1000形
- 車両仕様 全面低床式バリアフリー車両
 - ・3車体連接電動客車
 - ・長さ16.2m 幅2.4m 高さ3.8m 重さ23 t 定員74名

